

8月7日(土)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージザ

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

バッティストーニの底知れぬ情熱に 聴衆大興奮！！

8月6日 東京フィルハーモニー交響楽団



©青柳聡

ここはイタリア？ ミューザ初登場のアンドレア・バッティストーニが東フィルとともに奏でたイタリア・プロは、極彩色のパノラマ世界だった。ヴェルディ歌劇『シチリア島の夕べの祈り』序曲から、イタリアオペラが溢れ出した。弦も管もマエストロが欲しい響きを熟知していて、舞台にはいないオペラ歌手たちの美声まで序曲から聴きとれるよう。どのプレイヤーもバッティストーニに食いつくように最高の音を出す。レスピーギ組曲『シバ

の女王ベルキス』は、プレトークで語られたように、プロコフィエフやストラヴィンスキーの前衛的な響きが含まれている。1940年代のMGM映画を見ているような壮大なヴィジョンが浮かび、レスピーギが旧約聖書の中に見た夢世界がホールに投影された。

ニーノ・ロータ『ハープ協奏曲』では吉野直子がチャーミングなソロを披露。コンテンポラリーかつバロックの香りもする親しみやすい曲だが、ソロもオ

ケもかなり凝っている。ハープとフルートのダイアログが耳に残った。最後のレスピーギ『ローマの松』は東フィルとは録音もしている十八番。さらに洗練され、陰影を増し、魔法のような音楽になっていた。指揮者の底知れぬ情熱に聴衆は大興奮。東フィルのメンバーは全員ローマ市民に見えた。この夜の演奏会に訪れた皆が幸福な気分に含まれ、バッティストーニという太陽に感謝したのだった。

(音楽ライター 小田島久恵)



©青柳聡

アンドレア・バッティストーニ(指揮)
吉野直子(ハープ)

お客様から

Bravissimi! マエストロのレスピーギを聴きたいとずっと思っていました！その夢を叶えていただき最高です(48才・ばばちゃん豆)／ただただ最高でした。耳が「幸せ」って言ってました(16才・ツボツボ)／この音量、この音圧を待っていました！バッティストーニと東京フィルの進化！そして底抜けの熱量を全身で浴びて、放心状態で帰りました(38才・サービス・セミ怖い)／レスピーギの組曲は管楽器・打楽器の大運動会のような曲でしたが、一転してニーノ・ロータのハープ協奏曲が吉野さんの清涼感あふれるハープの演奏がすばらしく、最後の締めがローマの松でドカンとスッパリ終演。『さあ夏を乗り切るぞ！』と思えた演奏会でした(60才・おけらまん)／マエストロ・バッティ、ミューザは初めてとのことでしたが見事にホールを鳴らし切るあたりは流石です！きっとマエストロもミューザを気に入ってくれたと思うので、再登場を熱望します(50代・会社員・ピッツボ改めトッパ好き)

夏音 クイズ vol.15

【質問】またまた、ミュートンからの出題です。

フェスタ期間中、歓喜の広場にはパカンスを楽しむ作曲家たちの姿が。じつはこの中にはぐれミュートンが1匹まぎれこんでいます！さて、どこでしょう？(ぜひホールの前でお確かめ下さい！)



答えは次号！お楽しみに♪

前回のクイズの 正解発表

正解は②：ドヴォルザークの交響曲第7番。1962年3月29日。第41回定期演奏会で、創立指揮者渡邊曉雄の指揮で日本初演されました。

数々の意欲的なプログラムを取り上げた渡邊×日本フィル。日本初演となったドヴォルザークの「第7番」では、当時の日本フィルの弦楽器の充実を堪能できます。その時の録音は「JPO RECORDINGS」で配信中ですので、是非この機会に貴重な「ドキュメント」をお聴きください。



8/6出題の、日本フィルハーモニー交響楽団さんからのクイズ、正解は……②でした！！

特別支援学校での ワークショップ— 「かわさき組曲」 ができるまで

8月9日東京交響楽団フィナーレコンサートで演奏する「かわさき組曲」には、58名の「作者」がいます。それが「かわさき=ドレイク・ミュージック アンサンブル プロジェクト」。川崎市内3つの特別支援学校の生徒27名と18名の教員、そして13名の日英音楽家が5月から7月にかけてのべ20回に及ぶワークショップを行いました。彼らすべてが作曲家なのです。

特別支援学校には、障害のある人を支援する英国のアート団体「ドレイク・ミュージック」によるトレーニングに参加した音楽家、そして東京交響楽団の楽団員が赴き、生徒たちと一緒に音楽づくりを行いました。

音楽家は「教えに」行ったわけではありません。生徒たちと音楽家はフラットな関係で、できないことをできるようにさせるのではなく、生徒たちのできることに寄り添い、創造性を



©British Council

ワークショップに参加した東京交響楽団の新澤義美さん(左)と、指揮者の原田慶太楼さん(右)

引き出していきます。今回生徒たちのオリジナルから紡ぎだされた要素はオーケストラ曲としてアレンジされ、演奏されます。障害のある人もない人も創造性を発揮できる社会を目指すために、障害者のための特別なイベントで

はなく、いつものコンサートの中で演奏されることに大きな意味があります。ワークショップの雰囲気も反映したこの新しい曲を、ぜひ新しい心で聴いていただければと思います。



プロジェクトのショートムービーができました！
←ぜひご覧ください。



プロジェクトについて
←詳しくはこちら



パートナーショップのご紹介
**エンジョイ！
川崎！！**
Enjoy Kawasaki

優待券を
ご提示下さい

カフェ ゴクゴク

川崎アゼリア

パートナーショップ特典

「金の房プレミアムバナナミルク」
50円引き

毎日暑いですね！そんなときに飲みたいのが果物のジュース。川崎アゼリアにある「ゴクゴク」は、神奈川発の100%無添加スムージー専門店。というわけでデスクが隣の席の人を引き連れて行ってまいりました。私は一番のおすすめということで「金の房プレミアムバナナミルク」をテイクアウトで注文。

濃厚だけれども口当たりは爽やか、あっという間に完飲してしまった！ゴクゴクいくのも良いけれど、ゆったりと味わって飲むのも良いかもしれない。

ドリンクの種類は他にもたくさん。さらにカスタムメニューにも対応とのこと、今度は何を飲もうかな？ (す)



「金の房プレミアムバナナミルク」
Sサイズ(テイクアウト) 490円

サマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージザで投稿してください！



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

あたりで失礼いたします。(U)

「会いに行けるアイドル」のキャッチコピーで果A・Bが世の中を席捲したのはもう10年以上前ですが、推しの演奏家にもオンライン鑑賞というかたちで会いやすくなったのは、コロナの数少ない恩恵かもしれません。寝かしつけが済んだあと、おもむろにパソコンを立ち上げ、お酒とつまみを用意してひとりでアーカイブ視聴に没頭する……これこそ私の「おうちミュージザ」です。育児や介護、お仕事の忙しい方にもやさしいのがオンライン鑑賞。家族や友達とおしゃべりしながらでも楽しめて、お酒がきれたらすぐ補充可能。……と言っていたら、おや、息子が泣いている。ではいったん再生をストップしまして、このあたりで失礼いたします。(U)

ほほ
日刊サマーミュージザ
Hobo Nikkan Summer Muza

実家に帰れなくなって早2年がたちました。還暦を迎えた両親は孫と会いたいと切望するものの、ワクチンの2回目も済んでいないこともあり、今年のお盆もおそらく帰省はできなさそうです。

スタ
タ
ッ
フ
日
誌